

Introduction of YAMAGATA University

平成28年2月現在の

山形大学

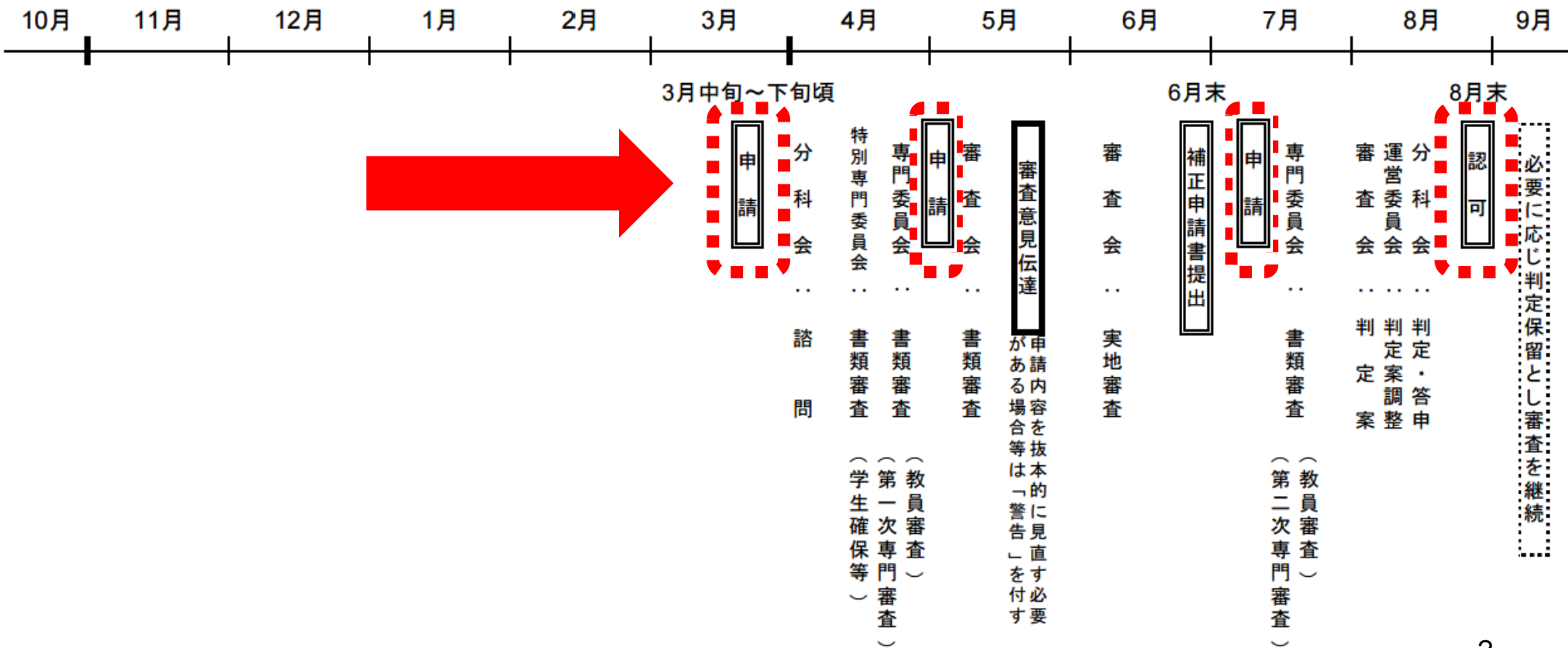
平成29年度教育組織改編の方向

大学設置分科会における一般的な審査スケジュール

学部の設置

【開設の前々年度】

【開設前年度】



山形大学の基本理念

学生教育を 中心とする 大学創り

学生が主体的に学ぶ環境を作り、
学生目線を大切にして学生とともに
成長する大学を目指す。

一人ひとりの学生にとって最善の教育を



「山形大学で学んで本当に良かった。」
そう言ってもらえることが
私たちの願いです。

山形大学長

小山 清人

KOYAMA Kiyohito



大学ブランド・イメージ調査2015-2016



地(知)の拠点
山形大学 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC)シンポジウム

自立分散型(地域)社会システムを構築し、運営する人材の育成

【東北編】TOP5

1位	東北大学
2位	山形大学
3位	国際教養大学
4位	東北福祉大学
5位	岩手大学

山形大学 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC)シンポジウム

協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業

1. <主催者あいさつ> 13:30~13:35
小山 清人 (国立大学法人山形大学長)

2. <来賓あいさつ> 13:35~13:45
塩見みづ穂 氏 (文部科学省高等教育局大学振興課長)
吉村美栄子 氏 (山形県知事)

3. <基調講演> 13:50~14:30
演 題:「東北圏の現状と地方創生(仮題)」
講 師:海輪 誠 氏 (公益財団法人 東北活性化研究センター会長)

4. <山形大学COC事業の目指すもの・COC事業の成果と課題> 14:45~15:10

5. <COC事業に関する学生の事例発表> 15:10~15:30

6. <パネルディスカッション> 15:30~16:55
テーマ:「地方創生と大学の果たす役割(仮題)」
パネリスト:大山 正延 氏 (株式会社スアテック相談役)
成沢 優子 氏 (ピーキューブ株式会社代表取締役社長)
安田 弘法 氏 (山形大学副学長(教育・学生支援・国際交流担当))
参加自治体代表者
本学学生
ファシリテーター:大場 好弘 氏 (山形大学副学長(EM・入試・社会連携担当))

<情報交換会> 17:20~18:30
場所:ホテルメトロポリタン山形

平成28年 2月9日(火) 13:30~17:00
◎受付13:00~

ホテルメトロポリタン山形 4階「霞城」
山形県山形市香澄町1丁目1番1号

シンポジウム参加費:無料 情報交換会:3,000円(当日徴収)

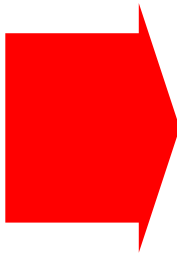
お問い合わせ・山形大学COC・COC推進室(上山サテライト)
お申し込み 電話:023-695-6264 FAX:023-695-6229
Eメール:cocuisin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
〒999-3101 山形県上山市金風湯院19-3 山形大学総合研究棟301

主催/国立大学法人 山形大学 共催/公益財団法人 東北活性化研究センター
後援/山形県、山形市、水沢市、鶴岡市、酒田市、上山市、長井市、西川町、真室川町、戸沢村、鹿角町、三川町、庄内町、遊佐町、山形県職工全協評連合会、山形県商工全連合会、山形県工業会、山形県銀行協会、山形県信用金庫協会、山形県観光者協会、山形県観光COC推進ネットワーク、山形県東北観光士会、山形県工業振興協会の他、東北4県の観光士会

平成28年2月現在の平成29年度教育組織改編の方向

現 行 【学部定員/1,685人】

人文学部	300
地域教育文化学部	240
理学部	185
医学部	185
工学部	620
農学部	155



改組後（H29.4～） 【学部定員/1,675人】

人文社会科学部	290
地域教育文化学部	175
理学部	210
医学部	185
工学部	650
農学部	165

本資料は、現在文部科学省との相談中の状況を示したものであり、確定情報ではなく、変更の可能性があります。

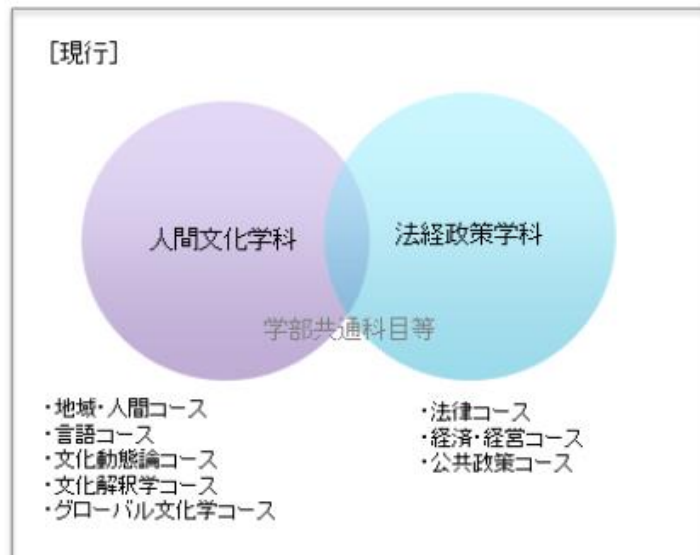
山形大学人文学部が「人文社会科学部(仮称)」に生まれ変わります！！

人文社会科学部(案)

本資料は、現在文部科学省との相談中の状況を示したものであり、確定情報ではなく、変更の可能性があります。

専門性を重視しながら、文化や社会科学を幅広く学べる学部になります。
専門的なことを深く学ぶと同時に、社会人として活躍するための基礎的な力
(英語、情報・統計・調査能力、実践的課題解決能力)の育成を重視します。

2 学科 8 コース制 → 1 学科 5 コース制



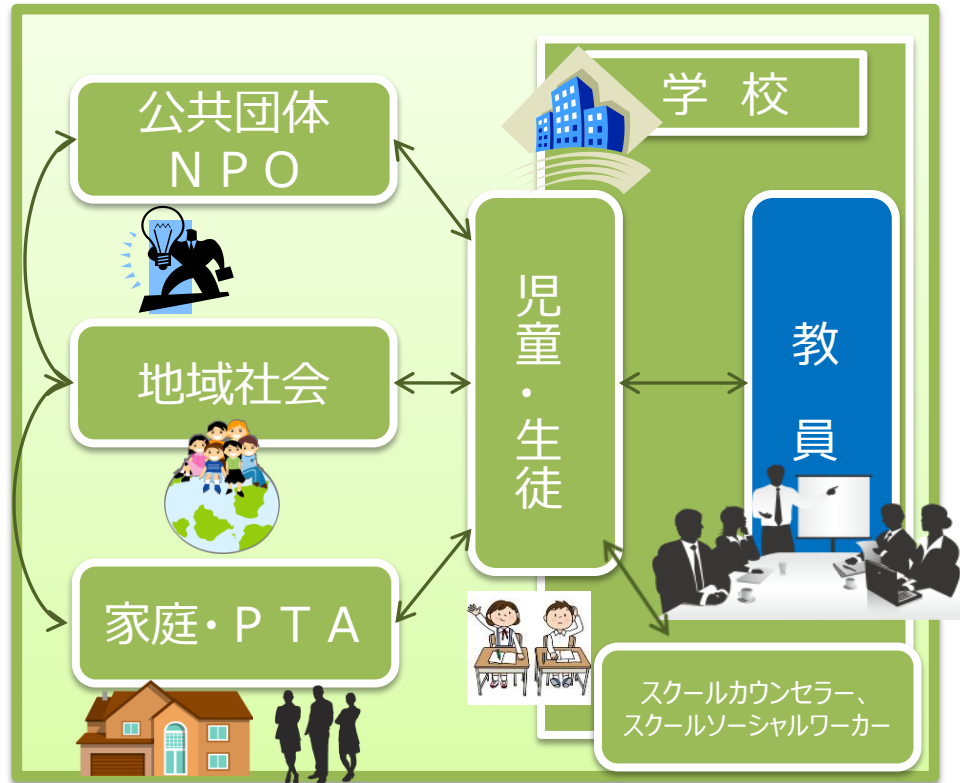
新 地域教育文化学部 (案)

<地域貢献・地域創生型学部>

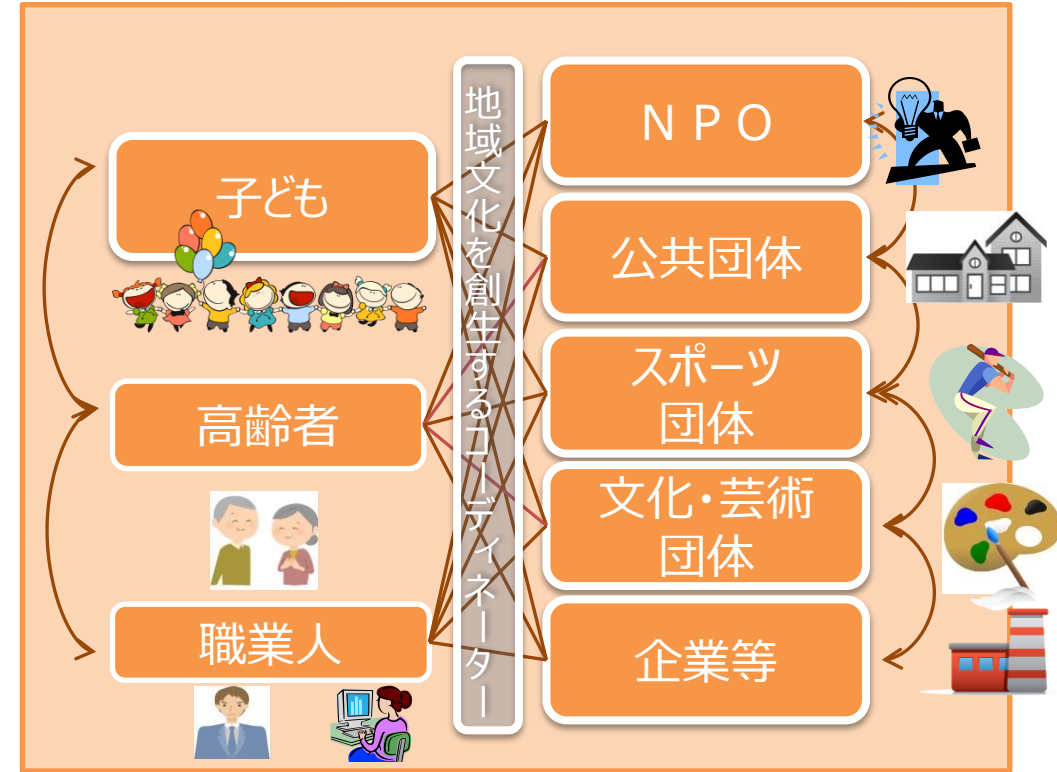
本資料は、現在文部科学省との相談中の状況を示したものであり、確定情報ではなく、変更の可能性があります。

地域教育 (児童教育コース)

地域文化 (文化創生コース(仮称))



地域ぐるみで子どもの育ちを支える
ネットワークを作るファシリテーター
として「チーム学校の一員としての教員」



地域社会が主体的に地域文化を継承し、
創生するためのネットワークを作る
コーディネーターとしての人材

地域の「地域とつながる子どもの育成」・「安全かつ安心な生活」・「文化的に豊かな人生」を支え、
多様な人々を巻き込んで課題解決に取り組む人材の養成

新 理学部 (案)

本資料は、現在文部科学省との相談中の状況を示したものであり、確定情報ではなく、変更の可能性があります。

【新編成】 分野横断による機能強化

理学部 1学科 (210名) 学士 (理学)	理工学研究科博士前期課程 修士 (理学)
理学科 6 コース 数学コース 物理学コース 化学コース 生物学コース 地球科学コース データサイエンスコース	理学専攻 (53)

新編成の特徴

◆カリキュラム

- ・分野別定員を設けないコース制
- ・キャリアパスを意識した履修プログラム
- ・基礎学力を重視した学部共通教育
- ・基盤力試験、TOEIC等を活用した学部・大学院の6年一貫教育
- ・理工系の研究科に接続できる学部カリキュラム

◆新コース

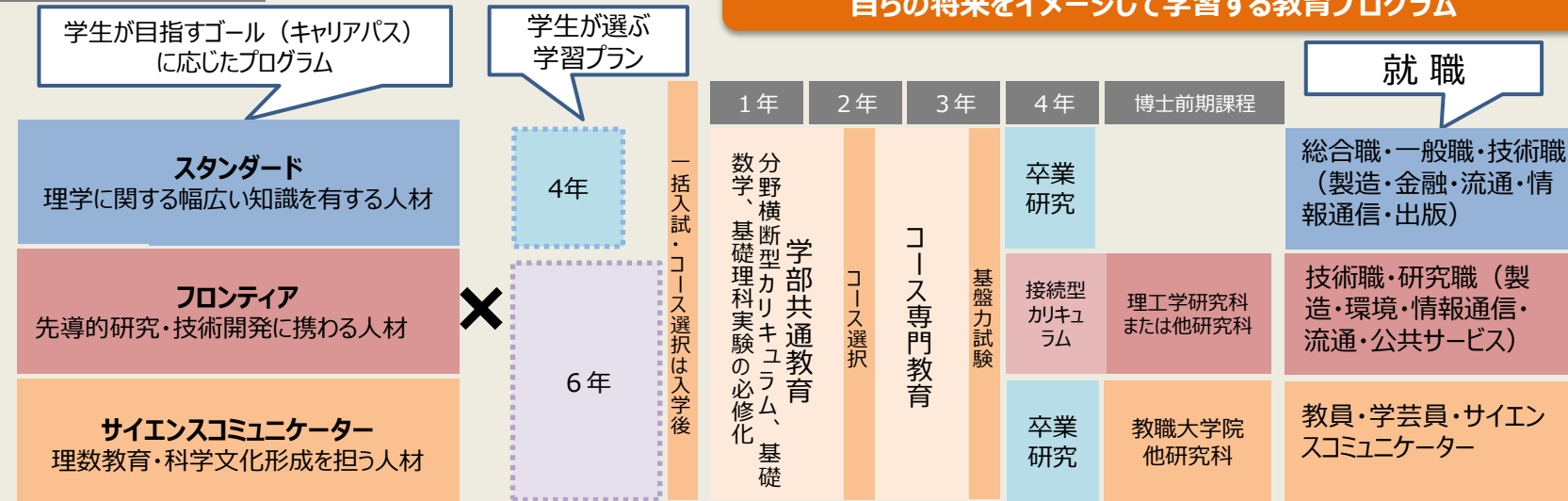
- ・データ解析からイノベーションを創出する「データサイエンスコース」

◆入試

- ・動機・探究心を重視した選抜方法
- ・地域からの入学者を増やす多様な選抜方法

学修の流れ

学生自らが多様な興味、能力に応じて専門分野を選択し、自らの将来をイメージして学習する教育プログラム



改組の方針

- ① 社会ニーズに対応するため、高度ものづくりの基盤を為す、材料・化学・電子情報・機械系の基盤分野の更なる発展・充実
- ② 本学の特徴である有機系分野の強みを活かす
- ③ 入学者の進路希望と就職先とのマッチング（出口を意識したカリキュラム）
- ④ 学生の多様化に対応するため、学生定員の大きな学科構成にする
- ⑤ IT人材の育成
- ⑥ 工学基盤分野と融合した新しい建築・デザイン分野を導入
- ⑦ 早期の社会と工学の繋がりに係る理解と知識の習得（PBL教育を活用）

本資料は、現在文部科学省との相談中の状況を示したものであり、確定情報ではなく、変更の可能性があります。

工学部 600 ※50

昼間コース

高分子・有機材料工学科 140

合成化学コース

光・電子材料コース

物性工学コース

化学・バイオ工学科 140

応用化学・化学工学コース

バイオ化学工学コース

情報・エレクトロニクス学科 150

情報・知能コース

電気・電子通信コース

機械システム工学科 140

構造・材料・デザインコース

熱流体・エネルギー工学コース

ロボット・バイオニクスコース

建築・デザイン学科 30

フレックスコース

システム創成工学科 ※50

イノベーションコース

エンジニアリングコース

チャレンジコース